

よみ

石に漱ぎ流れに枕す
いし くちすす なが まくら

なぞりがき

石に漱ぎ流れに枕す

いみ

自分の間違いを認めず、無理な言い訳をする
じぶん まちが みと むり い わけ
こと。

よみ

いし うえ さんねん
石の上にも三年

なぞりがき

石の上にも三年

いみ

がまん どりよく つづ かなら せいこう
我慢して努力を続けられ、必ず成功する。

よみ

いしばし たた わた
石橋を叩いて渡る

なぞりがき

石橋を叩いて渡る

いみ

あんぜん み
どんなに安全に見えることでも、
ようじんぶか
用心深く
しんちよう こうどう
慎重に行動すること。

よみ

いしや ふようじよう
医者の不養生

なぞりがき

医者の不養生

いみ

じぶん あとまわ
自分のことが後回しになっていること。
ひと りっぱ
人には立派なことを言いつつ、自分はできて
いないこと。

よみ

いしよくた れいせつ し
衣食足りて礼節を知る

なぞりがき

衣食足りて礼節を知る

いみ

せいかつ くる
生活が苦しいままでは、
れいぎ せつど まな
礼儀や節度を学ぶ
よゆう
余裕は生まれない。

よみ

いそ
まわ
急がば回れ

なぞりがき

急がば回れ

いみ

いそ
急いでいるときほど、
あぶ
危ない近道よりも、
ちかみち
安全な遠回りを選んだ方が結果的に良い。
あんぜん
とおまわ
えら
ほう
けっかてき
よ

よみ

一寸の虫にも五分の魂
いっすん むし ごぶ たましい

なぞりがき

一寸の虫にも五分の魂

いみ

小さく弱い者でも、侮ってはいけない。
ちい よわ もの あなど

よみ

いのち
命あつての物種
ものだね

なぞりがき

命あつての物種

いみ

なに
何をするにも、まず命があつてからであり、
命がなくなれば元も子もない。

二十九

よみ

いなかかわずたいかいし
井の中の蛙大海を知らず

なぞりがき

井の中の蛙大海を知らず

いみ

じぶんちしきけいけんひろせかい
自分のせまい知識や経験だけで、広い世界を
知らないこと。

よみ

いまし あたま しんじん
鰯の頭も信心から

なぞりがき

鰯の頭も信心から

いみ

つまらないものでも、しん信じる人ひとによってはあ
りがたいものにおも思える。